

保護者等向け児童発達支援評価表

公表日：令和7年11月11日

事業所名：こばんはうすくら 豊田大林教室

対象人数（保護者）16人 回答者数 16人 回収100%

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	1			スペースは広いと思う。	引き続き、活動内容やお子様の状況に応じて部屋を分けたり仕切りを使うなどの対応をしていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12		2		こちらが持参したサンドイッチを別の児童に食べられた事案が発生。 職員の配置数が適切でないと思われる。	お子様2名につき職員1名を基準とし、お子様の状況に応じて、適切な職員数の配置に努めていますが、お子様の動きが分かれる場面で目に行き届かない状況がございました。職員間の動きを整理し、対応してまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になってると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	3			2 トイレに段差があり、バリアフリーでないところがある	お子様の特性に配慮し、生活や活動に気持ちは向けやすい環境を整えています。トイレの際には、安全面に配慮しながら、お子様の状況に応じて、適切に介助してまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	1			1 活動に合わせた空間になっていると思います。	引き続き、お子様が心地良く過ごせる環境を整え、お子様の状況や活動に合わせて空間の使い方を工夫してまいります。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	1	1		1 紙を配られてサインするだけで、具体的な説明がないためわからない。	丁寧な説明に努めています。ご家族様と共にお子様の捉えをすすめ、職員間で共有しながら特性に応じた支援を行ってまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	1			1 合っていると思います	引き続き、支援内容に合った支援プログラムを公表してまいります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15				1 面談で話をして計画が作成されている。	引き続き、保護者面談にてご家族様とお子様のご様子を共有し、ご家族様の希望を伺いながら、アクセスメントツールも用いて客観的に分析し、計画を作成してまいります。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	1			設定されていると思う	ご家族様や関係機関と連携し、お子様の姿を捉え合い、より具体的な支援内容が設定できるよう努めています。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15				1 行われていると思います。	引き続き、計画を職員間で共有し、計画に沿った具体的な支援を行えるよう努めています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	2			1 お出かけ先は限られているかなと思う	活動プログラムが固定化されないよう、お子様の状況も踏まえながら、職員間でアイデアを出し合い、様々なプログラムを提供してまいります。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	2	3		5 交流があるかどうかはわからない	公園や地域の遊び場で地域のお子様と場を共有して遊ぶ機会を増やしてまいります。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16				契約の時に説明がありました。	引き続き、丁寧な説明に努めています。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15				1 支援内容の説明があった	引き続き、支援内容をご家族様と共有して支援させていただきます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	2	2		参観ウィークやてらこばカフェの案内がありました	引き続き、参観日や交流会等、ご家族様にご参加いただける機会を作っています。
	15 曜日からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解がでていると思いますか。	15		1		送迎の担当者から、その日の様子を伝えてもらっているが、1名年齢の女性は、毎回、全く何も説明がない。代えてほしい。	日々の連絡帳や送迎時の引き継ぎ、お電話や公式LINE等でお子様の体調やご様子を共有していまます。どの職員でもご家族様と情報共有が行えるよう、職員教育に努めています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16				定期的に面談の機会があります。	引き続き、半年毎の面談を基本としながら、お子様の状況やご家族様のご要望に応じて、随時面談やご相談の機会を設けてまいります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15		1		送迎の担当者から、その日の様子を伝えてもらっているが、1名年齢の女性は、毎回、全く何も説明がない。共感的に支援をされていると感じない。	お子様の状況や気持ちを察しめながら支援させていただいているます。ご家族様のお気持ちもお聞かせいただき、共に考えさせていただきたいと思います。経験のない職員につきましても、共感的に支援させていただくことができるよう、職員教育に努めています。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6		5		5 きょうだいイベントはなかったと思う	引き続き、保護者様同士の交流の機会を設けています。きょうだい向けのイベントにつきましても、今後検討してまいります。
	19 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してどのような場があることにについて周知、説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	1	1		2 給食支援補助の証明日数やおやつ代の請求に誤りがあり、指摘しても改善が見られない。	丁寧な説明と迅速な対応に努めています。証明書や請求につきまして、システムの確認やチェック体制の見直しを行いました。複数の目で確認を行い、再発防止に努めています。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14		1		1 送迎の担当の1名年齢の女性は、毎回、全く何も情報伝達がない。 情報伝達のための配慮がない。	活動の様子を文章と写真でお伝えしています。随時、公式LINEやお電話等で情報共有させていただきます。経験の少ない職員につきましても、ご家族様と情報共有させていただくことができるよう、職員教育に努めています。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15				1 LINEで案内が届きます。	引き続き、公式LINEやホームページ等で発信してまいります。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	1			2 取扱いについてはよくわからない	引き続き、個人情報を鍵付きの書棚で管理し、取扱いに十分留意してまいります。
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	2	1		5 防災訓練はあるが、マニュアルはわからない	各種マニュアルを作成し、訓練を実施しております。ご家族様への説明・周知の方法について検討してまいります。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	2			6 行われているかわからない	非常災害の発生に備え、訓練を行っております。より具体的な場面を想定した訓練の実施を行ってまいります。
	25 事業所により、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	2			2 怪我をすることがあります。	お子様の安全を第一に、必要な点検を行なながら安全面に配慮して支援してまいります。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	1			2 連絡があった。	事故等が発生した場合は、速やかにお電話や公式LINEにて保護者様に状況や対応等をご連絡いたします。怪我の状態を写真にてお伝えし、対応をご相談させていただきます。
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	15	1			安心して通えています	引き続き、安心できる環境作りに努めています。
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	15	1			楽しく通っている	引き続き、期待による活動を提供してまいります。
	29 事業所の支援に満足していますか。	15		1		問題発生時には、原因の分析を行い、再発防止を徹底的に行ってほしい。 職員への教育、指導を適切に行ってほしい。	原因の分析と再発防止策の策定を行い、業務改善に努めています。また、職員研修や教育により、支援の質の向上に努めています。

従業者向け

児童発達支援評価表

公表:令和 7年 11月 11日

事業所名 こはんはうすくら豊田大林教室

(職員数) 17人 (回収) 17人 (回収率) 100%

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	14	3	こどもの人数や状況に応じて部屋を分けるなど、環境を整えている。学習時など、仕切りなどを有効活用し、集中できる環境を作っていく。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	9	日によって少し差があると思います曜日固定でご利用いただいているため、子どもの状況に合わせて人員を確保している。十分な人員の確保が難しい場合は、ご利用日のご相談や送迎のご協力も仰いでいく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	16	1	一部バリアフリーではないところがある。 スケジュールや手洗い方法を視覚的に表示し、子どもたちが混乱なく過ごせている。 子どもの導線、安全に考慮した環境であると思います。 文字情報とイラストあるいは写真を用いて日々の支度用の力ガヨや手洗い・トイレの方法などが提示されている。 子どもたちが取り組み集中しやすいよう、整理された環境になっている。トイレには段差があるため、歩行が不安定なこどもには職員が介助している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	17	0	子どもたちの人数や活動に合わせて机や椅子の数や配置を変えることができている。 素材や軽さに配慮したテーブルと椅子が設置されており、毎日の清掃も行き届いています。 毎日清掃、消毒を行い、清潔な環境を提供している。活動に合わせて部屋を変えるなど工夫している。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	17	0	必要に応じて別の部屋に移動してクールダウンすることができている。 相談室など、常に使用しているとは限らない部屋にて、気持ちが昂ってしまった際のクールダウンや感染症の疑いのあるお子様の隔離に使用しています。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	16	1	振り返りや報告書で自身を振り返ることができている。 職員会議の際におおよそ確認している。 業務改善に向けたPDCAサイクルが定着しており、職員全体会が目標設定や振り返りに積極的に参加しています。 朝礼にて振り返りや共有を行い、職員で話し合って業務改善を進めている。 現状わからぬ
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	16	1	直接携わることが少ないため夜沼く分からぬが、保護者からの言葉には真摯に向き合っていると思う。 モニタリングや面談で、保護者様の療育に期待することを聞くことができている。 保護者からの評価や意見を丁寧に受け止め、ミーティング等で共有しながら、支援方法や運営体制の改善に反映しています。 日々の朝礼にて社員間で意見を出し合っている。非常勤職員に向け、意見箱を設置している。 現状わからぬ
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	2	ひとことボックスを設け、意見を把握する機会を設けている。教室内ミーティングや食事会で意見交換をし、業務改善に繋げている。 職員同士で話をしたり、パートなどで会話をする時間の取れない方には、匿名可能なご意見ボックスに書いていただくようにしている。 定期的な会議や個別面談等を通して職員の意見を収集し、運営方針や支援体制の見直しなど、業務改善に的確につなげています。 日々の朝礼にて社員間で意見を出し合っている。非常勤職員に向け、意見箱を設置している。 現状わからぬ
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	15	2	スーパーバイザーに来所いただき、業務について指導を行なっていただいている。 業務改善に的確につなげています。 把握できていません
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	16	1	外部研修の機会が多く、また内部でも新人研修を多く行っている。 入職した直後の新人研修だけでなく、発達センターへ出向く機会や職員会議前に団体や電話対応の研修の機会も設けることができている。 現状わからぬ
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	17	0	毎月のプログラムを会議で作成し、公表している。 年度が始まる前に1年間のプログラム予定表を作成し、平等に様々なプログラムを提供できるよう職員間で話し合うことができている。また、保護者様にも前月初めには翌月分のプログラム予定表を公式LINEにて公開している。 利用児童の実態や発達段階に応じて支援プログラムが適切に作成され、公表も適正に行われています。透明性のある運営が図られています。 5領域を取り入れた支援プログラムを作成、公表している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	16	1	AIを使ったアセスメントを行い、支援計画を作成している。 モニタリング(面談)にて、保護者様のご意向を確認している。職員間でもお子様の普段の様子を伝え合った情報を児童発達支援計画を作成している。 AIのアセスメントツールを活用し、児童発達支援計画を作成している。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	17	0	モニタリングやカンファレンスを職員も行い、計画作成に繋げている。 計画作成前段階で、職員間で支援方法等についての検討を実施している。 カンファレンスの時間がある。 日々行っている こどもの支援に関わる職員と共にモニタリングを行い、計画を作成、検討している。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	17	0	計画に沿って個別プログラムに説明したり、支援するようになっている。 カンファレンスのタイミングにて共有されている。また、お子様の個人ファイルは職員が見れるようになっている。 社員、パート等全員ができる。 計画を社員間で共有し、支援を行なっている。非常勤職員にも共有できるよう簡略化して伝えている。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	15	2	インフォーマルなアセスメントの使用があるかは分からぬ。 子どもの状況を観察し、職員間で共有するようになっている。 共有して行なっている AIを用いたアセスメントや、日々の子どもの行動観察から確認している。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	16	1	具体的な支援内容が設定されている。 どのお子様の計画も5領域に準じて作成されています。 ガイドラインに沿って、本人支援・家族支援・移行支援・地域支援の観点から必要な項目が適切に設定され、具体的な支援内容も明確に示されています。 今後も継続していく。より具体的な支援につなげていけるよう、関係機関との連携を密にしていく。

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	15	2	分担しながらも二人以上が関わってプログラムの立案を行っている。 アイデア等を職員間で話し合う機会がある。 ガイドラインに沿って、本人支援・家族支援・移行支援・地域支援の観点から必要な項目が適切に設定され、具体的な支援内容も明確に示されています。 今後も継続していく。より具体的な支援につなげていけるよう、関係機関との連携を密にしていく。 現状わからない
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	16	1	月毎に違うプログラムを作成している。 プログラム内容のレベルについても考慮されている。 こばん3教室で持ち回りで月間プログラムを考えることで、様々な人の手が入ることでなるべく偏りの無いようにしている。 プログラム会議を定期的に開いている。 5領域を取り入れながら、少しずつ発展していけるよう工夫している。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	16	1	個別と集団のどちらかに偏ることがないように計画が作成されている。 専門的支援も併せて行っている。 しっかりと行えている。 集団活動を基本しながら、子どもの状況に応じて、小集団、個別での活動も組み合わせた支援を行なっている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	17	0	その日の支援の進め方について共有している。 毎朝、支援内容や特に注意してみるべきお子様など話し合っている。 日々、朝礼を行い共有して進行している。 朝礼にて、支援内容や役割分担について確認している。非常勤職員には出勤された際に共有している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	14	3	ミーティングの機会は設けていないが、気づいたことの共有や個々の反省は行なうことができている。 気になったことを会話して共有している。 振り返りを行っている。 送迎スタッフが毎回次第、簡潔に振り返りを行い、日報をグループLINEにて共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	15	2	支援の記録はとっていないが、プログラムについての反省を行い支援の検証・改善に繋げている。 振り返りノート等 日報の記載を行っている。 日々記録をとり、子どもの状況の共有や支援の改善につなげている。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	17	0	半年に一回モニタリングを行い、計画の立て替えを行なっている。 半年毎に職員への聞き取り、保護者様への面談を行い、計画の見直しがなされている。 会議を開き、行っている。 6ヶ月毎の見直しを基本しながら、必要に応じて時期を早めて見直しを行なっている。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	15	2	今年度は担当者会議の機会がなかったが、いつもは子どもの状況をよく理解している職員が出席している。 今年度、相談員さんにサービス担当者会議の開催要請のお声がけができていない。 児発音が参加している。 サービス担当者会議の開催は少ないが、相談員と共に学校へ伺う等、連携を取っている。子どもの状況に応じて自事業所からサービス担当者会議の開催を求めることもしている。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	15	2	地域の発達センターや小学校と情報共有しながら支援を行っている。 近所の小児科クリニックと提携して熱中症対策等の情報発信を行っている。 児発音が率先して行っている 協力医療機関にご挨拶に伺い、必要に応じて連携して支援を行えるようお願いしている。こども園や学校と子どものご利用予定日や送迎時間、様子等を共有している。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15	2	今年度は学校の見学に行かせてもらう機会があった。 弊事業所の自らの対象年齢について保護者様との面談を話をして、地域の相談員さんに他事業所の話を聞きながら提案を行っている。園や学校の引き渡し等でお子様の様子を伝え合って支援の方向性の擦り合わせを行っている。 児発音が図っている こども園等と情報共有を行い、子どもの状況に応じた一貫した支援実施に努めている。また、就学や進級時には関係機関と連携して移行支援を行い、地域や学校とのつながりを大切にしている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15	2	学校側との就学相談の内容など、適宜保護者様から聞き取りを行なっている。 事業所との交流会を図っている学校にて、参加して情報共有を行なう事ができている。 児発音がしっかりと図っている 一部の学校へ伺い、情報共有や相互理解を図っている。就学先の全ての学校との情報共有、相互理解には至っていないため、連携を深めていく。
	28	(28~30は、センターのみ回答)			
	29	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	30	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	(31は、事業所のみ回答)				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	15	2	地域の発達センターの研修に積極的に参加している。 月に1回ほど定期的に研修を催していただきおり、参加させていただいている。 定期的に行っている 児童発達支援センター主催の研修や会議に参加させていただき、ご助言いただいている。また、必要に応じて児童発達支援センター併設の相談支援事業所相談員へご相談させていただいている。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	12	5	地域の活動にはあまり参加できていない。 土日のお出かけで、地域の公園や公共施設へ行っている。 機会があれば、率先して参加している。 地域の遊び場や公園にお出かけし、地域のこどもたちと場を共有して遊ぶ機会を設けている。
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	16	1	送迎時に子どもの状況を伝え、また体調等について聞き取りするようしている。 WebサービスHUGを使用し、電子の連絡帳という形で写真と共に文章で様子を伝えている。また、送迎やお迎えの引き渡しの際に口頭でも体調の様子などを伝えている。 しっかりと行っている 日々、連絡帳や公式LINE、電話、送迎等で子どもの状況を共有している。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	15	2	てらこばカフェを開催し、保護者様に情報提供するようにしている。 「てらこばカフェ」という催しにて、保護者様の為になる講話の時間を設けている。 機会があれば、参加している 参観日を設け、子どもの様子と一緒に観ながら相談をお受けしたり、保護者会を企画し、研修や情報提供の場を設けている。

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15	2	契約時に説明を行なっている。プログラム内容については毎日の連絡帳や活動記録で伝えている。ご契約時に1時間程度の時間をいただき、契約書を共に読み合わせながら口頭でも説明・補足を行なっている。契約時に説明を行なっている。今後も継続していく。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	16	1	面談で保護者様の意向を聞くようによっている。 必ず保護者様へのお聞き取りを行なっている。 計画作成にあたり、こどもや保護者の意向を丁寧に確認する機会を設け、こどもの最善の利益を優先しながら、個別の支援内容に反映しています。 保護者と面談の機会を設け、意向を確認した上で計画を作成している。こども自身の願いや思いを踏まえた計画作成に努めている。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	15	2	計画書を見せ説明しながら同意を得ている。 丁寧かつ分かりやすい説明が行われています。 支援計画作成毎に、保護者様に計画用紙をお渡しし、ご確認いただいている。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	16	1	必要に応じてお電話させていただき、状況の聞き取りを行なっている。 公式LINEや電話のお問い合わせにて、ご相談いただき、面談や返信等で必ず応じている。 児発音がしっかりと行っている 面談やお電話にて、ご家族からの悩み等を伺い、助言や支援を行っている。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	12	5	保護者同士はあるが、きょうだい同士の交流はない。 「てらこはカフェ」で保護者様同士がお話しする機会を設けている。 「てらこはカフェ」を定期的に催し、保護者交流の時間も設けている。 保護者会を開催し、珈琲を飲みながら保護者同士でお話できる場を設けている。きょうだい同士の交流の機会も検討していく。 把握できていません
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15	2	電話以外でも公式LINEで連絡が取れるようにしており、必要に応じてご連絡いただけるようにしている。 保護者様からのお問い合わせやお子様からの訴えは、すぐにスタッフ間で共有して対応している。 児発音が行っている 相談や申入れについての対応体制を整備し、契約時に説明している。相談等があった際は、迅速な対応に努めている。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	14	3	公式LINEを用いて行事予定や情報を発信している。 公式LINEやインスタグラムでの発信を行なっている。、
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	17	0	こどもの名前など個人情報はシェッダーにかけるようにしている。 個別支援計画やアセスメントシートなどの個人情報を、お子様一人ひとり専用でファイリングし、鍵のかかる扉がついた収納具に厳重に保管している。 個人情報の管理ルールを遵守し、必要な場面でのみ情報を取り扱うなど、細心の注意を払っています。 個人情報は鍵付きの書棚で管理し、取扱いに留意している。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	16	1	こどもに1日のスケジュールが伝わるように視覚的に表示している。 日常のやり取りや会議の場面で、こどもや保護者が理解しやすいよう配慮しながら、情報を的確に伝えています。 視覚的な情報も用いながら、わかりやすい表現で伝えるよう努めている。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10	7	感染症などの観点から行えていない 保護者の同意の上今後行なっていくと思う
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	15	2	マニュアルを策定し、会議にて職員に共有、研修をしている。 定期的に消防署へ要請し、訓練を行なっている。 事故防止や緊急時対応、防犯、感染症対応の各マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しています。 各種マニュアルを策定し、職員に周知している。また、訓練も実施している。ご家族への周知が不十分なため、公式LINE等を用いて周知していく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行なっているか。	15	2	避難経路の確認を定期的に行なっている。 定期的に職員会議前に訓練を行なっている。 災害発生時の対応手順を明確にしたBCPを策定し、職員やこどもが安全に行動できるよう、定期的に避難や救出などの実践的な訓練を行なっている。 BCPを策定し、訓練も実施している。今後も非常に備えて継続して行なっていく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	16	1	契約時に聞き取りを行なっている。 児発音が面談時に確認し、他職員へ情報共有している。 契約時にこどもの状況を確認し、てんかん発作については状況や対応を表にして職員間で共有している。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13	4	契約時に必要な情報を聞き取り、アレルギー源に触れることがないよう注意している。 クッキングのプログラム内容を考える際、来所しているお子様のアレルギーを確認し、含まれていないものを作るように考えている。 保護者からの連絡に基づき行なっている。 保護者から医師の指示を伺い、情報を表にして職員間で共有し、対応している。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	16	1	今年度は消防車本部で防災訓練を行ないました。 月に一回行われる職員会議の際に研修や訓練がある。 職員が安全管理の知識や技能を身につけられる研修や訓練を実施し、安全計画に基づいた対策を講じた上で、児童への支援が行われています。 安全計画を作成、研修や訓練を実施し、常に安全な環境を提供できるよう努めている。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	14	3	もしも時の避難場所について周知している。 地震などの災害時の避難場所は周知するようにしている。 職員へ周知しているが、ご家族への周知に至っていない。今後公式LINE等で周知していく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	16	1	毎日の日報でヒヤリハットを共有し、対策まで共有している。 他教室とも共有している。 日々の日報に記載し、口頭での会議も行なっている。 ヒヤリハットをグループLINEにて共有し、月初に前月のヒヤリハットを再度確認して、再発防止に努めている。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	16	1	新人研修や外部研修、会議前の研修で虐待についての勉強を行なっている。 定期的に研修がある。 研修の機会を設け、虐待防止に努めている。今後も継続していく。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行なうかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	15	2	必要に応じて、身の安全のために、身体介助について支援計画に記載している。 安全を確保するために短時間、身体介助を行なう場合があると支援計画に記載されるお子様もいる。 必要な場合の身体拘束の実施方針を職員間で共有し、保護者に説明して了解を得た上で、支援計画に明記しています。 やむを得ず身体拘束を行なう場合の要件を確認し、事前に保護者から了解を得ている。